

第3章 行動計画

1 基本目標別の施策展開

基本目標1 地域における子育ての支援

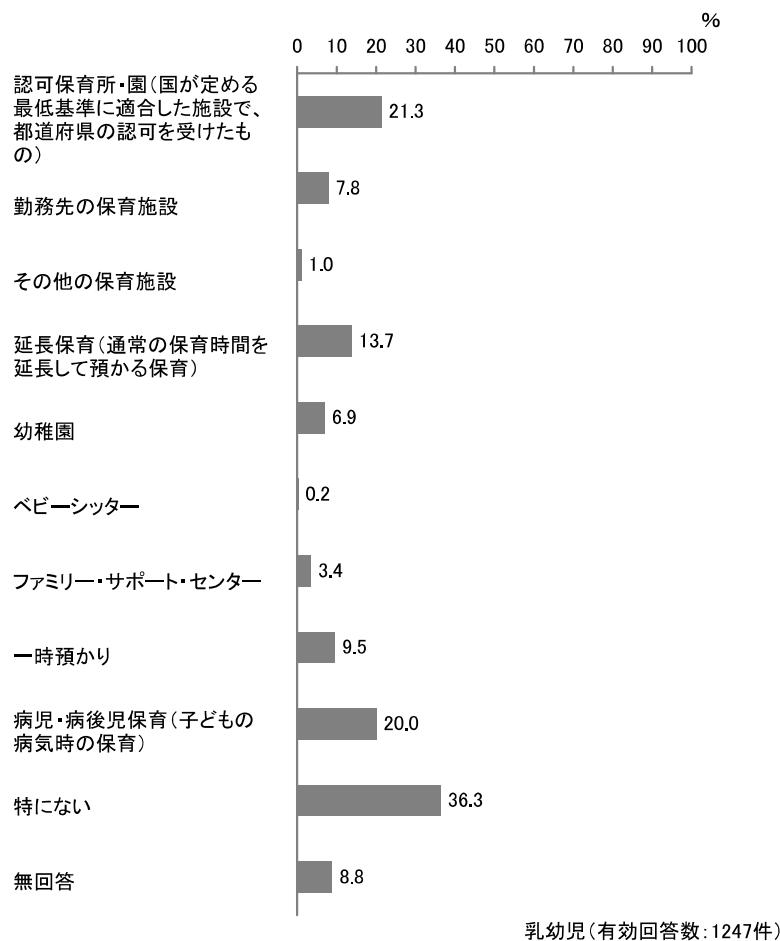
(1) 保育サービスの充実

[現状と課題]

近年は女性の就労率の上昇や育児休業制度の普及などにより、子育て家庭においても共働きが増えています。勤務形態も多様化しており、現在就労していない母親でも潜在的な就労意向を持つ人が多くなっています。在宅で子育てしている人も、そうでない人も、すべての子育て家庭が不安感や負担感を抱え込むことなく、子育てができるよう、保育サービス提供体制を整備することが求められています。

本市では、多様化する保護者の就労形態などのニーズに応じ、各園の特色ある方針を打ち出しながら保育サービスを実施してきました。今後の利用希望についてアンケート調査によると、保育サービスの中でも「認可保育所・園」に次いで「病児・病後児保育」、「延長保育」の割合が高くなっています。本市は子育てをする上で緊急時など比較的親族の支援を得られる環境にあるものの、子どもが病気やけがのときなどに仕事を休むことができない保護者のために、病児・病後児保育や保護者の短時間勤務や出産・疾病、一時的な休息など、一時的に安心して子どもを預けることができる体制をはじめ、決め細かな対応が必要です。

図 保育サービスの利用希望



[施策の方 向 性]

- 各ライフスタイルによる多様な保育ニーズに対応できるよう保育サービス等を充実します。
- 延長保育、病児・病後児保育事業など柔軟に保育ニーズに対応します。

1 基本目標別の施策展開

[具体事業一覧]

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
幼稚園における就園奨励費の助成	家族の所得状況に応じて、保護者の経済的負担の軽減を図ります。	学校教育課	園児数： 723人	継続
幼稚園運営の支援	幼児教育の充実とあわせて私立幼稚園の振興を図ります。	学校教育課	関市私立幼稚園運営費等補助園： 8園	継続
公立保育園の整備充実	乳児・延長・障がい児保育等多様な保育サービスを提供するため、人的な充実を図るとともに、施設整備面からも多様なニーズに対応できるよう整備を促進します。	子育て支援課 (都市計画課)	実施園数 または箇所数： 6箇所	継続
私立保育園の整備促進	乳児・延長・障がい児保育等多様な保育サービスを提供するため、人的な充実を図るとともに、施設整備面からも多様なニーズに対応できるよう整備を促進します。	子育て支援課	実施園数または 箇所数： 2園	継続
通常保育事業	保育ニーズに対応した受入態勢の整備を図ります。	子育て支援課	園数：21園 (公立12園、私立9園) 園児数： 2,320人 (公立852人、私立1,434人、管外34人)	継続
延長保育事業	多様化する勤務形態に対応し、就労を支援するため、開所時間の延長を図ります。	子育て支援課	園数：10園 (公立1園、私立9園)	継続
子育て短期支援事業（ショートステイ）	一時的な保育需要に対応するため、事業の充実を図ります。	子育て支援課	人日： 2人6日	継続
一時預かり (一時保育)	育児疲れの解消や勤務形態の多様化による一時的な保育需要に対応するため、事業の充実を図ります。	子育て支援課	園数： 14園 (公立7園、私立7園) 件数： 4,170件	拡充
病児・病後児保育	児童が病中又は病気の回復期にあって集団保育が困難な期間、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等において保育及び看護ケアを行います。	子育て支援課	利用者：13人 (H20.8～実施)	拡充
夜間保育	保護者の就労形態や就業時間の多様化に対応するため、夜間延長して保育を行います。	子育て支援課	—	拡充
休日保育	日曜や祝日などに保護者が就労する家庭の児童の保育を行います。	子育て支援課	—	拡充

(2) 子育て支援サービスの充実

[現状と課題]

近年、地域における子育て家庭の孤立化による子育てに対する負担感の増大、特に子育てをしている専業主婦などの育児不安が指摘されており、共働き家庭のみならず、すべての子育て家庭を対象とする支援の充実が求められています。

本市では、地域子育て支援センター事業をはじめ、様々な子育て支援サービスの充実に努めてきました。しかし、アンケート調査では、ファミリー・サポート・センターの利用状況は2%に満たない状況であり、子育て支援センターについても1割未満の利用状況となっています。これらサービスの内容や利用方法などの周知を図り、利用しやすい環境づくりを進めることが必要です。

また、子どもが小学校へ進学した際には、放課後の支援として留守家庭児童教室を実施していますが、就学前の子育て支援サービスから就学後の支援へ滞ることなく提供されるよう、関係機関で調整を図る必要があります。この留守家庭児童教室については、働く女性の増加、核家族化などにより、ニーズが高まっていますが、地区によっては手狭になっているため、場所を確保するなど、待機児童への対策も必要となっています。

図 ファミリー・サポート・センターの利用状況

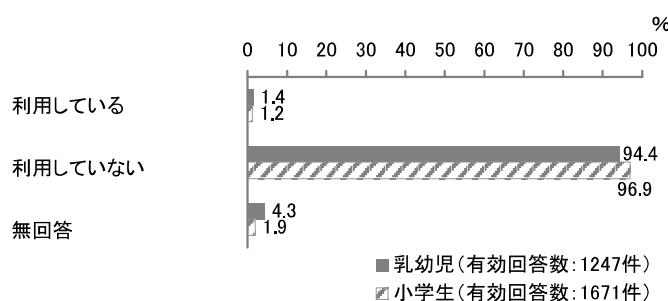
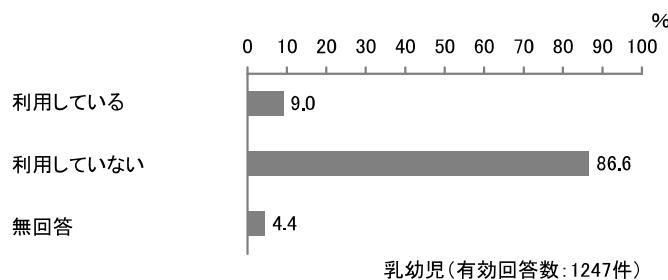


図 子育て支援センターの利用状況



1 基本目標別の施策展開

[施策の方向性]

- ひとり親家庭や共働き家庭をはじめ、すべての子育て家庭が不安や負担を抱え込むことなく、ゆとりを持って子育てできるように、子育て支援サービスの充実や相談体制の充実を図ります。
- 各種の子育て支援サービス等が、利用者に十分周知されるよう、わかりやすい内容による情報提供の充実に努めます。
- 利用者の多様なニーズに対応できるよう、関係機関で連携を図り、留守家庭児童教室の充実に努めます。

[具体事業一覧]

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
地域子育て支援センター事業	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭への支援活動の企画、調整、実施をし、育児不安等について相談指導、育児サークルへの支援、地域の保育資源の提供等により、地域の子育て家庭に対して育児支援を行います。	子育て支援課	参加者数： 11,800人	拡充
ファミリー・サポート・センター事業の充実	既存の保育サービスでは応じきれない保育サービスに応え、仕事と育児の両立を支援します。	子育て支援課	会員数： 530人	拡充
子育てコンサルタント事業の充実	乳幼児連れ親子が自由に集い交流できる場にコンサルタントを配置し、子育てを支援し、母親等の育児不安を解消し安心して子どもを生み育てる環境づくりを推進します。	子育て支援課	実施箇所数： 2箇所 実施回数：47回	継続
子育てサロンの充実（つどいの広場事業）	市内の中学校校下のふれあいセンター内に児童室を利用した子育てサロンを設置し、子育てへの不安に対する相談や子育て親子の交流できる集いの場を提供します。	子育て支援課	利用者数： 6,752人	継続
留守家庭児童教室の充実及び指導員の育成	地域において昼間保護者等のいない留守家庭児童のため、空き教室等を利用した留守家庭児童教室を設置し、児童の生活指導を行うことで、健全育成の向上を図ります。また、指導員の増員、育成を図ります。	子育て支援課	登録人数： 635人 開催日数： 240日	継続
児童手当の給付 (子ども手当)	児童を養育している保護者に手当を支給することにより、家庭における生活の安全に寄与とともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図ります。	子育て支援課	児童手当支給件数： 17,975件	拡充

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
子育て支援スタッフ派遣事業	出産予定日が6週以内の者及び0歳から5歳までの乳幼児を持ち、親族等から家事・育児等の支援を受けられない家庭を対象に、家庭内に育児や家事に精通した経験豊富なスタッフを派遣して、炊事・洗濯・掃除などの指導や、乳幼児の授乳・おむつ交換などのアドバイスをするとともに、子育てサークルの冊子や事業チラシを配布するなどの情報提供を通じて様々な子育て支援を行います。	子育て支援課	一	拡充
児童センター事業	就学前の児童を対象に、健康を増進し、情操を豊かにするため、健全な遊びの機会を提供するとともに、相談も行います。	子育て支援課	来館者数： 68,155人	拡充

(3) 子育て支援ネットワークづくり

[現状と課題]

少子化、都市化、情報化など、家庭や地域を取り巻く社会状況は様々に変化し、これに伴い、人々の意識やライフスタイルも変化しています。このような中で、地域の「つながり」が希薄化し、子育ての不安感や負担感を増長させている要因になっています。

本市においては、子育て家庭の孤立を防ぐため、関連機関と連携し、子育て支援ネットワークを強化するとともに子育てサークルへの支援を行ってきました。アンケート調査によると、子育てサークルに現在参加していないが、機会があれば参加したいというニーズが約3割となっています。今後も子育て中の保護者が交流できる場として子育てサークルへの参加機会を提供するとともに、継続した活動ができるよう支援することが必要です。

また、アンケート調査では、地域に対して、通園・通学時の見守りや子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意してくれるなど、地域ぐるみでの子どもの見守りに対する要望が高くなっています。市民協働の考えによる、地域福祉活動を促進し、子育て家庭を支援する体制が必要です。

図 子育てに関するサークルなど自主的な活動への参加状況

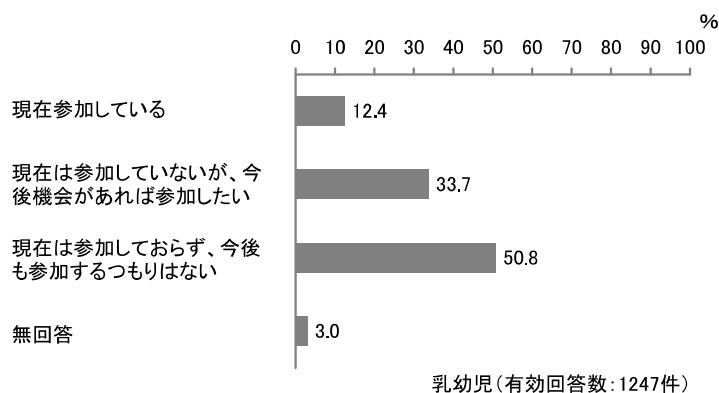
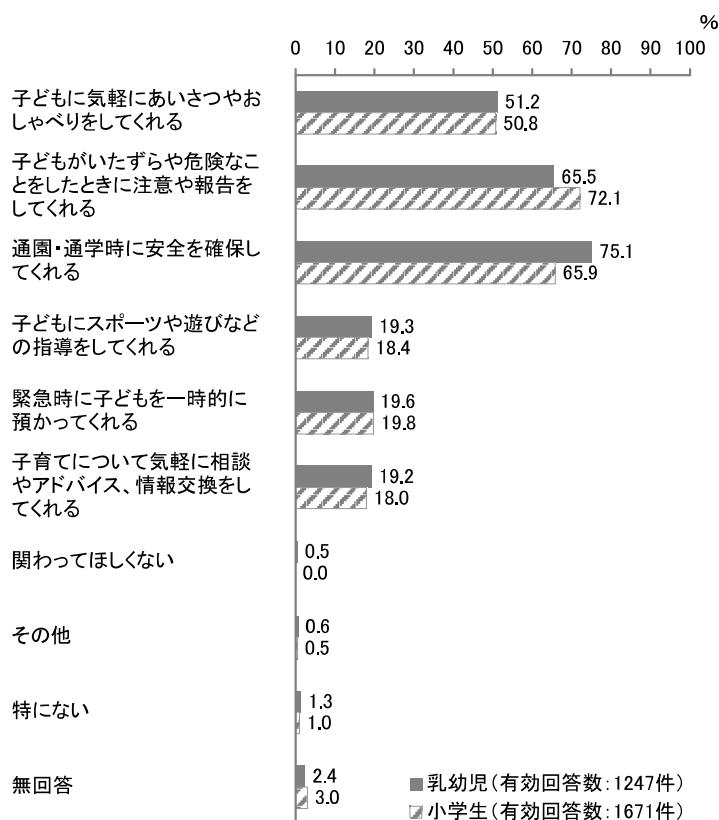


図 子育てや子どもへの地域の関わりに期待すること



[施策の方向性]

- 地域における子育て支援ネットワークの充実を図るとともに、子育てサークルの活動を支援し、参加促進を図るなど、子育て中の親の交流機会を提供し、子育て不安の解消に努めます。
- 地域住民の多くが子育てへの関心・理解を高め、地域全体で子育て家庭を支えることができるよう、子育てに関する意識啓発等を進めます。

1 基本目標別の施策展開

[具体事業一覧]

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
社会福祉協議会、社会福祉事業団、民生委員児童委員連絡協議会、地域福祉推進団体などの育成・連携強化	地域福祉推進機関である社会福祉協議会、社会福祉事業団の組織及び機能強化を図るとともに、民生委員児童委員等の資質向上と活動を強化し、民生委員児童委員協議会の組織の充実・強化を図ります。また、地域のネットワークづくり、総合サービスシステムの確立を図ります。	福祉政策課	定例会実施回数： 月1回 地域福祉懇談会 実施回数： 年17回	継続
関市子育て支援ネットワーク協議会	福祉関係団体、保健関係機関、教育関係機関及び団体、子育てサークル、ボランティア団体等の代表の方で組織される「関市子育て支援ネットワーク協議会」において子育てに対する支援を行っています。	子育て支援課	作品展示 実施回数：1回 折り紙教室 実施回数： 各地区1回 参加者数： 1回45人 すくすくフェスタ 参加者数： 95人 食物アレルギー 料理教室 すくすくフリー マーケット 実施回数：1回 すくすくランド 実施回数： 44回 参加者数： 1,134人	継続
子育てサークルへの支援	サークル同士の交流会、連絡調整等の支援を行います。	子育て支援課	サークル活動相談 実施回数：3回	継続

(4) 児童の健全育成

[現状と課題]

家庭や学校だけでなく、地域社会も子どもの生活の場として大切です。しかし、少子化が進み、学歴重視の傾向やゲーム等を中心とした遊び方の変化、治安の悪化等により、子どもたちが地域の人々や自然とふれあう機会が減少しています。こうした状況は、子ども自身にゆとりがなくなり、仲間意識が希薄になるなどし、人格形成にも大きな影響を与えています。

本市では、子どもの健全育成を推進するため、地域での様々な体験活動を提供するとともに、指導者や支援者の育成などに努めてきました。

アンケート調査によると、土曜日や日曜日などの小学生の過ごし方は家庭で親と過ごす割合が高く、友だちと遊ぶことは少なくなっています。しかし、親の要望としては、放課後に子ども同士で自主活動などができる場やスポーツ活動に対するニーズが高くなっています。また、学校で大切にしてほしいことをみると、「のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと」の割合が最も高くなっています。また、「のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと」の割合が最も高くなっています。

このようなことから、子どもの社会性を育むためには、子どもたちが、家庭・仲間・地域とのふれ合いの場へ参加することが大切となり、気軽に利用できる施設や事業の充実が必要です。

表 土曜日・日曜日の過ごし方

小学生（有効回答数：1671件）

単位：%

		クラブ活動をしている	留守家庭児童教室で過ごしている	学校にいる	図書館などの公共の施設にいる	塾や習い事に行っている	友だちと外で遊んでいる	友だちの家にいる	保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごしている	ベビーシッターなどと過ごしている（ファミリーサポートセンターの利用を含む）	家で兄弟・姉妹や友だちなど子どもだけで過ごしている	家で1人で過ごしている	その他	無回答
土曜日	午前	6.7	-	0.2	0.5	9.8	3.7	0.8	66.1	0.1	3.4	0.5	3.4	4.8
	午後	3.3	0.2	-	0.8	7.0	10.5	2.3	66.0	-	2.2	0.4	2.5	4.9
	18～20時	0.8	-	-	-	2.9	0.1	-	88.4	-	0.9	0.1	1.4	5.6
	20時以降	0.2	-	0.1	-	0.4	0.1	-	90.2	-	0.7	0.1	2.2	6.1
	日曜日	午前	6.9	0.2	0.2	0.1	3.2	2.2	0.5	76.7	-	2.2	0.1	3.1
日曜日	午後	3.8	0.1	-	0.3	1.5	6.1	1.3	77.9	-	1.6	0.1	2.6	4.8
	18～20時	-	-	-	-	0.1	0.1	-	92.4	-	0.8	0.1	1.4	5.2
	20時以降	-	0.1	0.1	-	-	-	-	91.4	-	0.7	0.1	1.9	5.9

1 基本目標別の施策展開

図 身近な地域で子ども同士が交流などできる場の要望

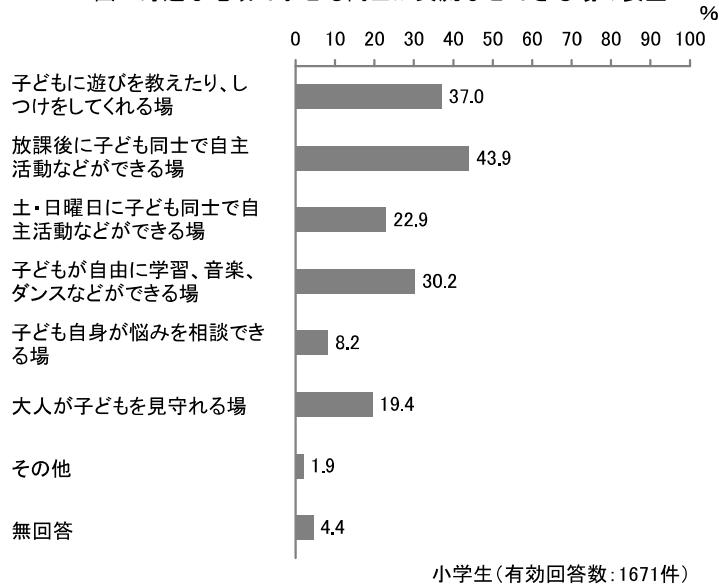


図 子どもが参加している・今後参加させたい活動

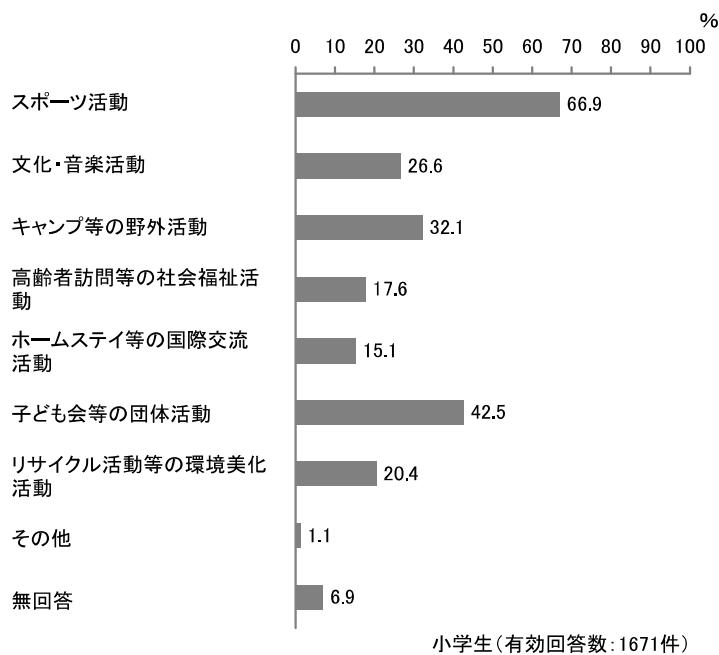
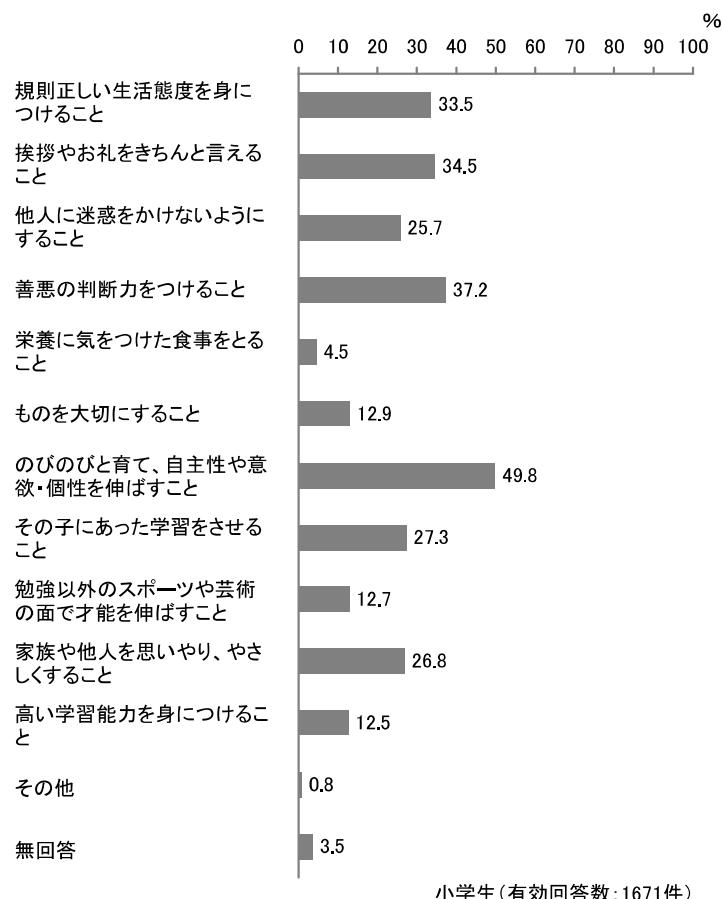


図 学校で大切にしてほしいこと



[施策の方 向 性]

- 子どもの自主的な活動を地域が支えるしくみづくりにより、地域において児童が自主的に参加し、自由に遊べ、学習や様々な体験活動、地域住民との交流活動等を行うことができる機会を提供します。
- 関係機関や地域の各種団体の連携を図り、地域での交流ができる機会を提供します。

1 基本目標別の施策展開

[具体事業一覧]

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
少年自然の家の施設、設備の整備充実	少年自然の家の施設を充実するとともに、安全性の強化を図ります。	運動公園課	安全に関する研修会実施回数：2回	継続
指導者の養成	自然の家入所にあたり、野外活動や集団宿泊体験の教育的効果があげられるよう指導者の役割・必要知識及び技能の習得を図るために、青少年団体等指導者研修会や学校団体等指導者研修会を行います。	運動公園課	研修会参加者数：59人	継続
自然教室の開催	子どもやその家族が楽しくて学校や家庭・地域ではできない体験活動の場となるような自然教室を充実します。	運動公園課	参加者数：314人	継続
生活相談の充実	家庭児童相談室を設置し、次代を担う児童を心身ともに健全に育成するため、学校内のこと・いじめ・勉強・非行防止対策・母子相談・DV相談等について関係機関と連絡を密にし、家庭児童相談員、母子自立支援員(女性相談員)が相談指導を行います。	子育て支援課	家庭児童相談件数：210件 (学校生活24件、家族関係76件、その他110件) 母子自立支援相談件数：244件	継続
世代間交流事業の推進	保育園児が高齢者の施設訪問により交流機会とします。	子育て支援課	訪問回数： 各保育園 年1回	継続
ちびっ子広場の整備充実	遊び場に恵まれない地域の児童が、危険な場所を離れてのびのびと遊べる広場として、地区・自治会が児童の健全育成のため、ちびっ子広場を整備し、地元の憩いの場をつくります。	子育て支援課	補助金交付件数：4件	継続
少年センターの充実	少年センターの体制充実を図ります。また、街頭補導の有効的補導方法を研究し、実効性のある補導活動の充実を図り、立入調査等による環境浄化を推進します。	生涯学習課	中央補導回数： (特別補導を含む) 21回	継続
ボランティア情報の統一化	市民活動センター及び生涯学習ボランティア・アドバイザー協議会等の関係機関との連携を強化し、情報の共有と統一化を図ります。	社会福祉協議会	登録団体数： 団体 118 団体 個人 182 人	継続
自然体験事業の充実	社会環境の変化に積極的に対応できる力を身につけるため、多種多様な学習機会として充実を図ります。	生涯学習課	参加者数：40人	継続
地域社会との交流機会の拡充	青少年の健全育成は、地域社会全体の責任であるという考えのもと、気軽に社会参加ができるような地域社会を形成し、青少年と地域社会との交流を促進します。	生涯学習課	ゴールデンウィークスペシャル等の実施	継続

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
青少年団体の育成	青少年関係の団体の活動・組織を充実させ、活動での体験から健全育成につなげるため、各種の団体を育成します。	生涯学習課	一	継続
放課後子ども教室事業の推進	放課後や土・日曜日等に学び・体験・交流・遊びができる児童の安全・安心な居場所づくりを進めることにより、児童の健全育成を支援します。	生涯学習課	実施数： 15 教室	拡充
カワゲラウォツチングの支援	自然環境についての意識の向上と、生き物調査の実施を通して自然環境保護精神を高めるため、生物の生育、生息状況の調査に必要なパンフレット等の教材の配布や、貸出器材の整備を行います。	生活環境課 (学校教育課)	実施校数： 小学校 10 校 中学校 3 校	継続
親子講座の充実	子どもにも開かれた公民館、また児童に対する健全育成等を考えるなか、ふれあいを大切に考えた体験学習を行います。	中央公民館	親子講座数： 12 講座	継続
公民館のネットワーク化	学習環境の場を整備し、自主的な学習・文化活動を促進し、よりよい地域づくりをめざします。また、ふれあいセンター、地域生涯学習センターを公民館的施設として運用していきます。	中央公民館	一	継続
スポーツ団体の育成及び専門指導者の育成	次世代を育成支援できる指導者の育成、各種スポーツ団体を育成強化し、生涯スポーツの普及・振興を推進します。	スポーツ振興課	参加者数： 2,146 人	継続
体育指導委員の育成	体育指導委員会月例会（子ども・親子で参加できる事業の企画・運営等）の開催、研修会への参加を行い、次世代を育成支援できる体育指導員の育成・組織の確立を図ります。	スポーツ振興課	実施回数： 91 回	継続
読書講演会の開催 読み聞かせ教室の開催	生涯学習の芽を幼少時代から育てるとともに、読書習慣や図書利用の定着を図ります。 また、指定管理者制度に移行し、運営を促進します。	図書館	一	継続
関市子ども文化事業	「全国子ども作品コンクール」の開催 全国の小中高の児童生徒を対象に「木の造形作品」「俳句作品」を募集しコンクールを開催し、創造性・文化性の向上と、「豊かな心の醸成」を図ります。	教育総務課 学校教育課 文化課	一	継続 (23年度未定)
	「子ども木の造形創作教室」の開催 夏休みに3講座（1講座3日間）を実施し彫刻家・専門指導者の指導による創作活動教室を行います。	教育総務課 運動公園課	一	継続 (23年度未定)

1 基本目標別の施策展開

事業名	事業内容	所管課	現状 (20年度実績)	平成26年度 目標
関市子ども文化事業	「子ども俳句教室」の開催 5月から8月の第4土曜日、延べ4回開催し専門教師の指導による俳句づくり教室を開催します。	文化課	開催回数：4回	継続
青少年健全育成の推進	家庭の教育力を高め、学校、地域社会が一体となり、連携を深め協力体制の強化を図り、青少年問題の広報、普及、少年非行防止活動の推進に努めます。	生涯学習課	—	継続
生活安全推進協議会の充実 関係機関への提言 暴走族の根絶	青少年の非行・犯罪も複雑化・低年齢化・凶悪化を防止するため、行政・警察・防犯諸団体の一体的な啓発活動を推進します。	危機管理課 (関警察署)	啓発活動回数： 30回	拡充